

発刊のことば

豊富町教育委員会教育長 小野寺 英治

今、国においては、教育再生の下、土曜授業実施の検討等様々な施策が矢継ぎ早に進められようとしており、教育を取り巻く環境も大きく変化しようとしております。さらに、教育現場では、学力の低下、体力の低下、いじめや不登校など多くの課題を抱えています。このような状況の中にあっても、これからの社会を生きていくために「確かな学力、豊かな心、健やかな身体」をバランスよく育てることが重要です。

社会教育は、自由かつ主体的で、多様な学び合いを基本とする自己形成の活動であることから、様々な活動を体験し、自身が好む活動に出会い、自らがその活動を深め、探究する自分探しの活動です。また、家庭教育は、子どもが基本的な生活習慣、基本的な倫理観、自立心、自制心を身につけるなど人間形成の基礎を培う上で重要な役割を担っております。また、学力向上には家庭での学習習慣の取組が不可欠です。

このような中、本町では地域皆様の主体的な社会教育活動を高めるため、第4次中期計画を策定し計画的に推進してきたところでありますが、この計画が終了することで、国及び北海道の教育推進の動向を見極めつつ、新たな社会教育のあり方について諮問いたしました。

この諮問を受け、第4次中期計画の反省や現状と課題を踏まえ、今後における望まれる社会教育の推進について答申をいただいたところであります。

教育委員会といたしましては、この答申を尊重し、町民皆様が「いつでも」「どこでも」「誰でも」学び続けることのできる生涯学習社会構築の観点に立ち、『第5次豊富町社会教育中期計画』を策定いたしました。

今後におきましては、本書の策定の主旨や内容を指針とし、関係各位と共に有効に活用するなかで、地域の特性を生かし生涯学び続け、心の豊かさと生きがいをもたらす社会教育活動に一層勤めて参りたいと存じます。

終わりに、本計画策定に際しご尽力を賜りました策定委員皆様に心から感謝申し上げます。